

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和5年度		
施設名	玉川温泉ビジターセンター	設置年	平成 9 年
所在地	秋田県仙北市田沢湖玉川字渋黒沢		
指定管理者	株式会社 玉川サービス		
県所管課	自然保護	課	調整・自然環境 チーム

1 施設の概要

設置目的	自然公園の利用の促進を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に設置したもので、焼山を中心とした火山活動や自然環境等をわかりやすく展示解説している。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの 自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	敷地面積：18,947.40㎡ 建築面積：931.20㎡ 延床面積：802.93㎡					
主な設置施設	展示ホール（プロジェクションマッピング・ディスプレイ・パネル等）、休憩スペース、ワークスペース					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制）（無）（指定管理料制）				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R3. 4. 1		～	R8. 3. 31	
	営業期間・時間	4月28日～11月4日 ・ 8：30～17：00				
自主事業の内容	1 施設及び設備の維持管理に関する業務 2 前号に掲げるもののほか、センターの管理に関し知事が必要と認める業務					
	1 木の実を使ったクラフト教室など自然学習活動 2 仙北市内や八幡平の写真パネル展や玉川温泉に関する情報展示 3 近隣施設及び関係機関からパンフレットや観光マップ等を取り寄せ、利用者への情報提供					
直近3年の年間利用者数	R3	5,807 人	R4	7,309 人	R5	7,027 人
直近3年の年間利用収入	R3	千円	R4	千円	R5	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R元	R2	R3	R4	R5
収入計		4,990	5,148	5,406	5,036	5,119
利用料金収入						
指定管理料		4,990	5,148	5,406	5,036	5,119
その他収入						
支出計		4,961	5,080	5,471	5,010	4,984
人件費		2,276	2,360	2,387	2,388	2,386
光熱水費						433
修繕費						59
外部委託費						487
その他経費		2,685	2,720	3,084	2,622	1,619
差引		29	68	▲ 65	26	135

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組 【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和5年度 の目標	利用者数 8,500人
--------------	-------------

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	実績	7,027人	達成率	82.7%
	具体的な 取組と その効果	前年度に引き続き展示品のリニューアルに加えてパンフレットを近隣の宿泊施設に観光施設への配布、クラフト教室等の参加型イベントを実施することで誘客に努めました。4月～6月は前年と同程度の入館者数でしたが、7月の秋田県内を襲った豪雨による通行止めや9月～10月の土日祝日の天候不良の割合が多かったことから、前年度実績を超えることができませんでした。		
直近3年 の実績	年度	R2年度	R3年度	R4年度
	目標	10,000	7,000	8,000
	実績	5,317	5,807	7,039
	達成率	53.2%	83.0%	88.0%
令和6年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 8,000人		
	設定根拠	前年度は天候不順による利用者の減員が目立っていたので、今年度は前年度実績の13.9%の増で設定した。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I> の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	7月の豪雨による土日祝日の国道341号の通行止めと、9月～10月の土日祝日の天候不順が多かったことが悔やまれる。
	県 (所管課)	B	天候不順による目標の未達であり、立地的にやむを得ないものとする。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

<観点Ⅱ> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和5年度 の実績	実績	83.3%		
	具体的な 取組と その効果	昨年に引き続き展示物に対する満足度が高かった。展示物の内「北投石 についての紹介」の映像と「秋田焼山と玉川温泉の紹介」のプロジェクショ ンマッピングに興味をもった入館者が多かった。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R2年度	R3年度	R4年度	
	77.5%	86.5%	88.5%	

<観点Ⅱ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価 欄	指定管理者	A	展示物・館内の清掃状況・職員の対応について入館者からお褒めの言葉を頂戴しております。 令和6年度は人気の高いプロジェクションマッピングの装置が営業開始時から故障状態のため、 今年度の満足度への影響が懸念されます。
	県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

<観点Ⅲ> 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	経費の 低減実績	・委託料総額5,119,000円に対して4,984,216円の使用だった。(▲134,784円)
	具体的な 取組と その効果	-

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	収入の 増加実績	-
	具体的な 取組と その効果	-

<観点Ⅲ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	除雪費や事務用ノートPCの更新による館内設備消耗品費が計画に対して増加したが、前年度に展示物更新に伴うパンフレットの更新を実施したため今年度は実施を見送ることができたこと、清掃規模の調整により赤字にならずに終わることができた。
	県 (所管課)	B	経費削減に努めながら管理運営されている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

<観点Ⅳ> 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	<p>○職員配置状況 事業計画書に照らして適切な職員配置になっており、受付担当者が不在にならないなど利用者に迷惑が掛からない配置になっている。</p> <p>○職員の勤務実績 事業計画書に照らして適切な勤務実績になっており、各職員が他の職員の業務状況を把握し手伝えるような工夫をしている。</p> <p>○施設・設備の管理 事業計画書の日常保守管理、定期点検、清掃等の計画に照らして適切に管理されており、サーベイメーターを除いて全て稼働できている。</p> <p>○備品の管理 備品台帳に記載されている備品が全て揃っており、備品に目に見える損傷等がない。</p>
--------------	---

<観点Ⅳ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実施報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	B	適正な管理運営に努めており、重大な問題点は見受けられない。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)
県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

地域の自然や文化などの情報を展示・解説・発信する施設として、自然公園利用の増進と環境保全の意欲の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。

○施設運営の課題

施設の老朽化・展示品の故障

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

施設設備が劣化しやすい地域環境である。引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。